

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	【事業所と地域のつきあい】 様々な行事等を通してお付き合いができるようになっているが、こちらから出向く事はやっているが、地域の方が参加して頂けるケースが少ない。	①運営推進会議の出席率を上げる ②ニチイ祭に参加して頂ける ③認知症サポーター研修が開催出来る	・早目の連絡や訪問による出席の依頼実施 ・地区の集会に参加しアピールを行う ・機会を見つけ研修の必要性を理解してもらう ・見学会を定期的に開催する	12ヶ月
2	4	【運営推進会議を活かした取組】 家族様の出席者が限られていたり、現場のスタッフが参加するシステムを構築していなかった。	①毎回、現場のスタッフも参加する ②家族様の参加率や参加者を増やす ③会議の内容を充実させる	・1年を通して全てのスタッフが参加する。 ・会議の案内や内容をアピールを行う。 ・家族様に向けた勉強会などを企画する。 ・面会時等を通して参加を呼びかける。 ・参加して楽しいと感じられるよう工夫する。	12ヶ月
3	48	【役割、楽しみごとの支援】 ホームの理念として「活動を重視したケアを行い」と定めているが、スタッフ一人一人がアクティビティを理解し実践しているとは言えない。	①日、週、月単位で活動計画を作成実施する ②全てのスタッフがアクティビティを理解する ③入居者様が活き活きと過ごせる	・年度初めに詳細な活動計画を作成する ・計画に基づき実施し定型化していく ・アクティビティに必要な資料を作成する ・勉強会を通して学習を進める ・入居者様の状態に即した活動を行う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。